

※監督者会議を50mスタート用ベンチが置いている場所で行う。
資料は事前に熟読し、選手への連絡を必ず行うこと。

第53回山口県選手権水泳競技大会 兼 第79回国民スポーツ大会水泳競技大会山口県予選会 監督者会議資料

【競技について】

- (1) 本競技会は令和7(2025)年度(公財)日本水泳連盟競泳競技会規則に則り実施する。
- (2) メインプールの水深は、2.0mとする。
- (3) 競技進行は早まることがある。
- (4) スタートは50m種目がターンサイドから、その他はスタートサイドから出発とする。
- (5) 競技は全種目10名で0レーンから9レーンを使用する。選手が10名に満たない場合は合同でレースをする場合がある。男女最初の組の合同レースを行う場合もある。対象の選手は招集遅れないようにすること。棄権者が出た場合、組数の変更することもある。
- (6) 決勝競技は予選競技の結果、各年齢区分の上位10名が出場できる。予選競技終了後電光掲示板にランキングを表示する。同記録で予定人数を超えた場合は抽選を行う。棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。補欠2名まで招集を受けること。
- (7) 予選の結果・決勝スタートリスト・決勝の結果は場内には掲示しない。新超速(LRS)を使って確認すること。国民スポーツ大会参加標準記録突破者の情報を掲示する。
- (8) 選手の招集は競技開始20分前までには来ること。50m種目は8～9組前、100m以上種目は3～5組前をモニター表示しているので確認すること。
- (9) 予選・タイム決勝競技を棄権する場合には、所定の届出用紙に記入し、当該種目競技開始1時間前までに招集所へ提出すること。棄権用紙を提出していないと、組数間違いなどが起こる可能性が高くなるため、事前提出すること。
決勝競技を棄権することはできない。棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて1階受付に棄権用紙(決勝競技用)を提出すること。
決勝を無断で棄権した場合、さらに罰金3,000円を徴収する。
- (10) 着順・記録はすべて自動審判計時装置で行う。ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。本大会はグリップスイッチを使用しない。**タッチをしっかりと行えず記録が出ない場合は、失格となる。**
- (11) 競技成立後の退水は、予選は50m種目・背泳ぎを除きオーバー・ザ・トップ方式とし、次の組がスタートした後に速やかに退水すること。
- (12) 通告について 予選はレーン及び選手の紹介は行わない。タイム決勝・決勝競技からゲート入場を行う。順位・記録の発表は行わない。日本新記録、中国新記録、山口県新記録、大会新記録および国民スポーツ大会参加標準記録突破を発表する。
- (13) 決勝の50m種目はスタートサイドからゲート入場し、ターンサイドまで歩いていく。
- (14) 国民スポーツ大会選考種目におけるスイムオフについて 同区分同種目で同記録の場合は、スイムオフを行う。スイムオフは、その競技が行われた日の最終競技終了後に行う。
- (15) 水着やキャップなどのロゴマークは、(公財)日本水泳連盟の規程に適合するものを使用すること。

【プールの使用について】

- (1) メインプールでの練習時間・公式スタート時間は別紙「控所」を確認すること。
変更等ある場合放送及び電光掲示板で指示する。
- (2) アップ時の使用レーンの分け動線は別紙「会場図動線・招集・アップスタート練習待機列」を必ず確認すること。
- (3) 0・1レーン(スタートサイドより)をダッシュレーンとする。
公式スタートのレーンは、大会当日状況をみて設置する。
- (4) スタート練習は次に泳いでくる選手との接触を防ぐため、必ず25m以上泳ぎ切ること。

- (5) ウォームアップでメインプール利用する時は、必ず引率者が付き添うようにすること。
(選手のみで行わない)
- (6) ウォームアップ用のサブプールは全レーン使用できる。
(飛び込み禁止。頭からの入水、または足からの駆け足入水は飛び込みと見なして禁止)
- (7) 道具の使用は、パドル・チューブ以外の使用を許可する。
- (8) サブプールの利用は男女別にレーンを指定する。
- (9) サブプールのスタート台は設置しない。

【招集について】

別紙「会場図動線・招集・アップスタート練習待機列」を確認すること。

【会場の使用について】

- (1) 本大会は有観客で実施する。会場に入場できるのは、大会参加選手・引率コーチ、大会参加チームの関係者（保護者等）、そして競技役員を含めた大会運営関係者のみとする。（施設関係者を含む）
- (2) スタンド席は、別紙「スタンド」をご確認すること。チーム関係者の観覧はEエリア側のスタンド席を利用すること。選手席には座らないこと。席には限りがあり、立ち見になる場合もある。
- (3) 本大会は控え場所を指定しているので、場所は別紙「控所」をご確認すること。
- (4) 複数のチームが同場所の場合、1つのチームが場所を占領せず譲り合うこと。
- (5) 通路裏や電光掲示板回りは結露等で濡れている場合があるので、各自ブルーシート等持参すること。
- (6) **土曜日の競技終了後、シート等を控所に置いて帰ることは可能とする。ただし、ごみは必ず毎日持ち帰ること。置いて帰る場合は必ずシート等を畳んでまとめておくこと。畳んでいない場合は忘れ物として撤去する。スタンド席に置き荷物はできない。置いてあった場合は忘れ物として撤去する。**
- (7) 非常扉や消火栓の前の場所取りは禁止とする。
- (8) 持ち物・貴重品は、各自で管理し盗難には十分注意すること。万一、盗難が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。

【更衣室の使用について】

- (1) 濡れたまま更衣室に入ると転倒の恐れがあるため、更衣室に入る前に身体をしっかりと拭くこと。
- (2) 着替えをすませたらすぐに出るようにすること。
- (3) 盗撮防止の為、更衣室でのスマートフォンやカメラ等の使用を禁止する。
- (4) 更衣室を控え場所として利用できない。飲食をしたりすることも禁止する。
- (5) 更衣室のドライヤーは利用できない。
- (6) 置き荷物は、忘れ物として扱う。ロッカーの鍵を紛失した場合は費用を施設に支払うこと。
- (7) 控所・スタンドから更衣室へ移動するときは、履物を履くこと。（裸足で歩かない）

【開門について】

※本大会は開門・アップのチーム分けをしない。

- (1) 入場順の指定がないので、競技役員の指示に従うこと。
待機列に並ぶのはチームが揃っていないなくても並べるが、遅れてきた選手を途中の列の中に入れるのはやめること。列の一番後ろに並ぶこと。
- (2) 開門時間に一緒に入らない選手がいる場合は、招集用のADカードを首からかけてプール来場し、受付に提示すること。また、一旦プールに入った後に外へ出る場合も、一般の方との区別をつけるためにADカードを首からかけること。
- (3) 待機場所は屋根がないため、天気に合わせて対策を行うこと。
- (4) 開門は全て1階正面玄関より入館すること。

【チーム受付・大会受付について】

- (1) 開門時チーム受付は場外（正面入り口付近）で行う。チーム受付を行ってから館内に入場すること。
- (2) 引率コーチ用のADカードはチーム受付の袋の中に入れておく。帰りの際は、必ず受付に返却すること。選手のADカードケースは各チームで準備すること。（中身は事前に送った資料を入れておくこと）。

- (3) 予約弁当の受け渡しは1階受付にて11時を予定とする。
- (4) 1階受付にてプログラムを1部1,000円で販売する。決勝スタートリストを1部1000円で販売する。年刊「水泳やまぐち」を1冊1,500円で販売する。
- (5) 本大会は大会関係者のみの観覧にしているので、観覧受付時につける再入場確認用リストバンドを撮影許可証とする。
- (6) 選手・コーチの撮影はスタンド席からのみ許可する。
- (7) スタート時のフラッシュ撮影は禁止する。ビデオカメラや携帯電話で動画を撮影する時に、ライトが光ったままになるものもあるため注意すること。撮影はスタンドからのみとし、プールサイドでは行わないこと。

【競技結果の公開・ライブ配信について】

- (1) 競技終了後Results of Japan Swimmingに結果をアップロードする。
結果がResults of Japan Swimmingサイトに反映されるまで時間がかかることがある。<https://result.swim.or.jp/>
- (2) 「超速」および「新超速(LRS)」の配信を行う。
 - ・新超速(LRS)：2025年4月から運用している新システム
 - ・ベスト記録との比較や決勝スタートリストへの補欠表示などの新機能がある。
- (3) YouTube配信は行わない。



超速



新超速

【式典・表彰について】

- (1) 開始式を1日目12:25から行うので、選手・コーチはスタンド席に整列すること。
- (2) 個人表彰式を行う。各種目優勝者にメダル、3位入賞者に賞状、新記録樹立者に新記録証を授与する。競技順序を確認の上、対象者は招集所に遅れないように集まること。

【チャレンジレースについて】

- (1) エントリー資格は国民スポーツ大会への出場資格をもつ学年・年齢で本大会の出場を目指すもの、本大会で該当種目に出場した者（失格した場合も可）とする。
- (2) エントリータイムの制限タイムは設けない。
- (3) 実施するチャレンジレース種目は国民スポーツ大会の各区分開催種目のうち、本大会決勝レース終了時点で標準記録突破者がいない種目（400m以下）のみとする。
- (4) 実施日は1日目・2日目それぞれの日に実施した種目とする。
- (5) 実施時間は両日とも、その日のすべてのタイム決勝・決勝レース終了後ただちに実施する。種目実施順はタイム決勝・決勝実施順とする。
- (6) 申込方法は1階受付に申込書と1,500円を添えて申し込むこと。締切時刻は各競技決勝レース終了後15分以内とする。
- (7) 競技結果（タイム）の取り扱いは県選手権大会終了後のタイムトライアルであることから、山口県中学校選手権・中国高等学校選手権で樹立した記録と同等に選手選考の資料として取り扱う。

【その他】

- (1) 当日の体調が悪い場合は、プールには来場しないこと。
- (2) チームの帯同競技役員は、別紙「競技役員ご案内」を確認すること。
- (3) 本大会はコーチエリアをスタンド席に設ける。
- (4) 駐車場は「北・東・中央駐車場」を利用すること。駐車スペース以外での駐停車はしないこと。横断歩道を渡ってプール入口へ行くこと。
- (5) 大会での忘れ物等の問い合わせは、きらら博記念公園水泳プールには絶対にしないこと。
(県水連で忘れ物等は1か月預かり、忘れ物は所属チームに着払いで送る)
- (6) 大会中各チームから出るゴミは全て各チーム責任を持って、持ち帰ること。退館する際は控え所・観客席を今一度確認し、ゴミや忘れ物がないように確認すること。
- (7) プール敷地内（建物内）は全て禁煙となっているので、敷地外の指定の場所を利用すること。